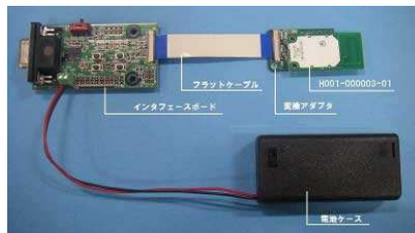


シグナルアナライザによる920MHz帯無線モジュールの測定

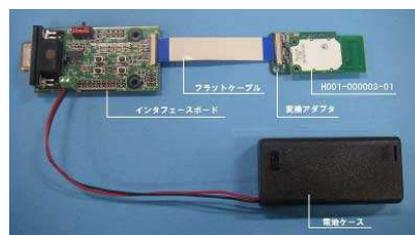
◇ハンディ・リアルタイム・シグナルアナライザにより920MHz帯無線モジュールの測定が簡単に行えます

[アプリケーション ~*Application*~]

接続ブロック図



無線モジュールA



無線モジュールB

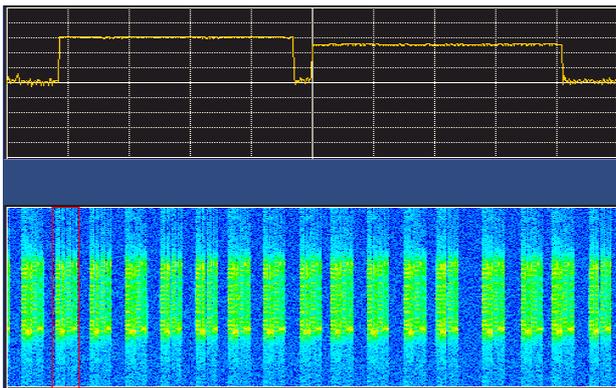


シグナルアナライザ MSA538

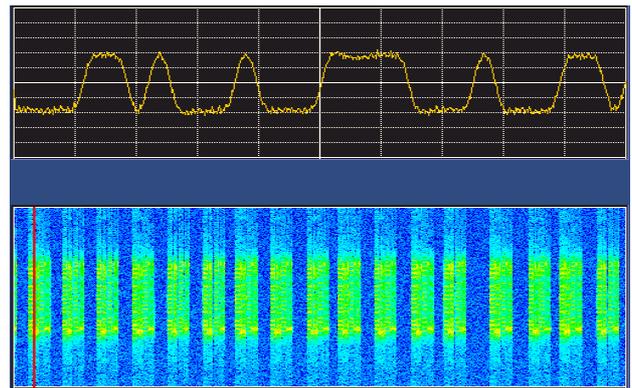
[ソリューション ~*Solution*~]

■ MSA538にスリーブアンテナM401を接続し、通信中の無線モジュールの信号を測定します。

パワー対時間とスペクトログラムの2画面解析にて送信持続時間の測定ができます。下の例では
下り: 23.2 ms
上り: 24.8 ms



メイン解析を周波数対時間に切り替えることによりGFSK信号の周波数変化の測定ができます。下の例では、
周波数遷移: +/-40 kHz



[システム構成・価格 ~*System constitution & Price*~]

スペクトラムアナライザ[MSA538]	×1	748,000
リチウムイオン電池 [MB400]	×1	21,600
スリーブアンテナ[M401]	×1	24,000

合計価格(税抜き) ¥ 793,600~

2024/12